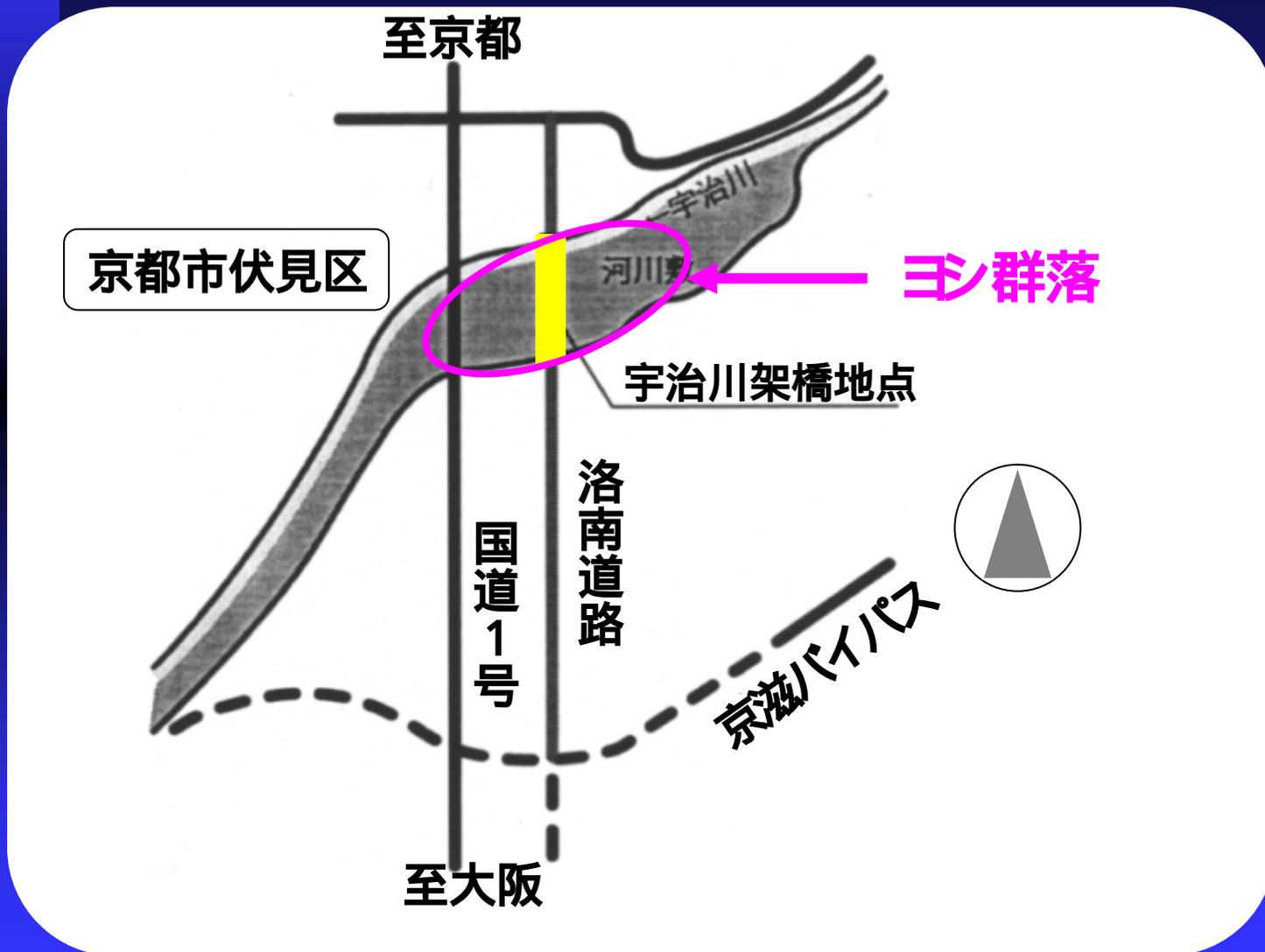
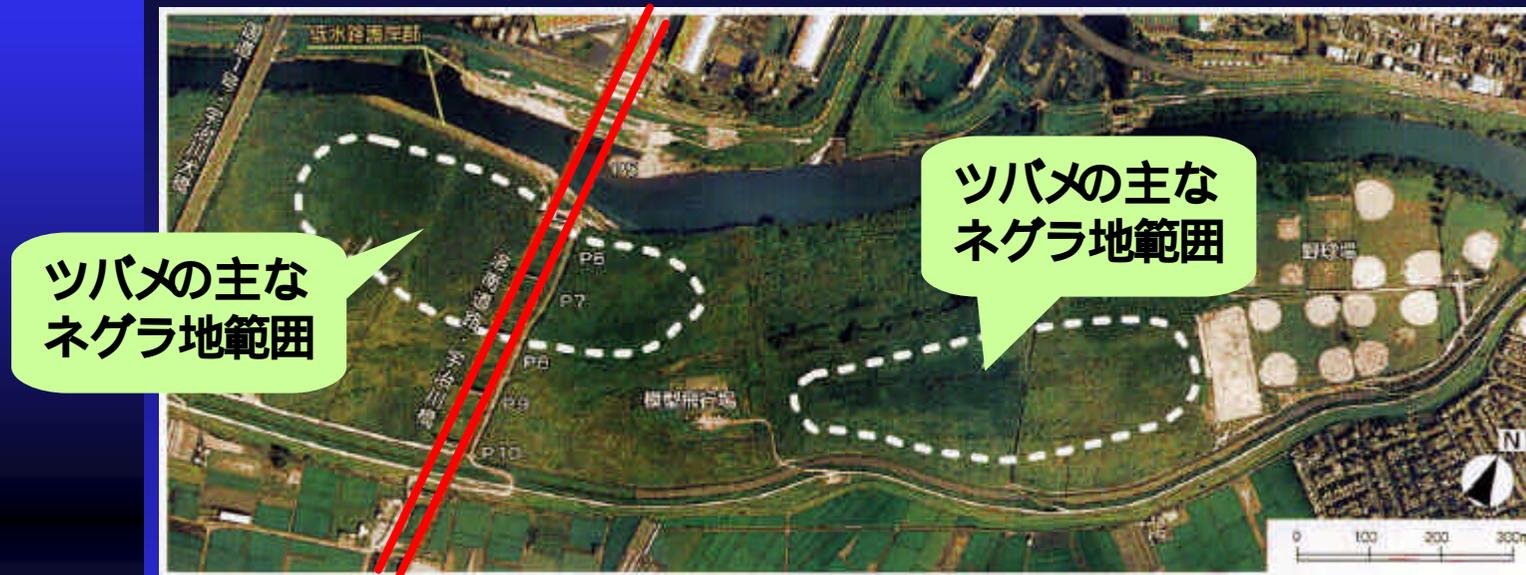


参6.5 桥梁工事における環境配慮の指導 【洛南道路宇治川橋の環境保全対策】



参6.5 橋梁工事における環境配慮の指導 【洛南道路宇治川橋の環境保全対策】



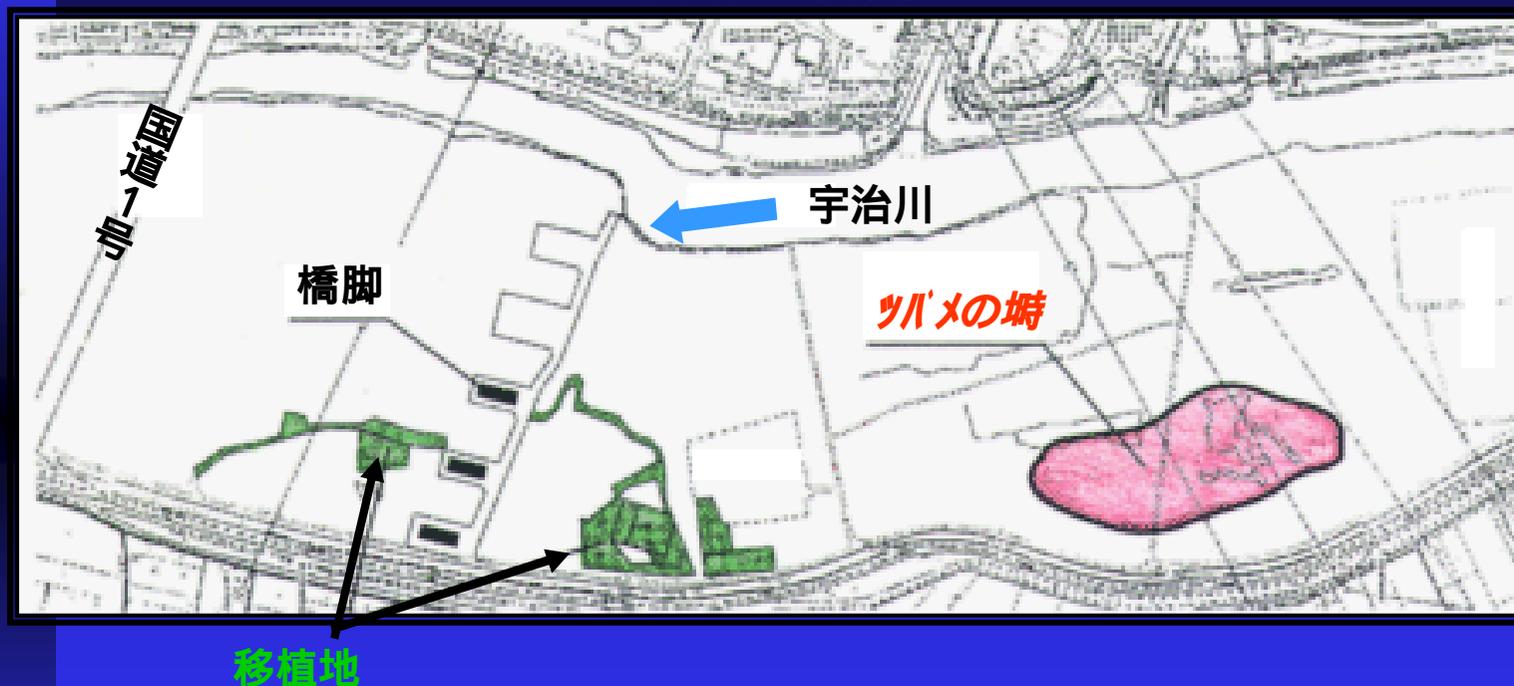
橋梁工事による環境の改変
(植生域の改変、ツバメの埴地(ヨシ原)の分断等)



環境保全対策を指導
(橋脚数低減、ヨシ原の移植、水域環境の保全等)

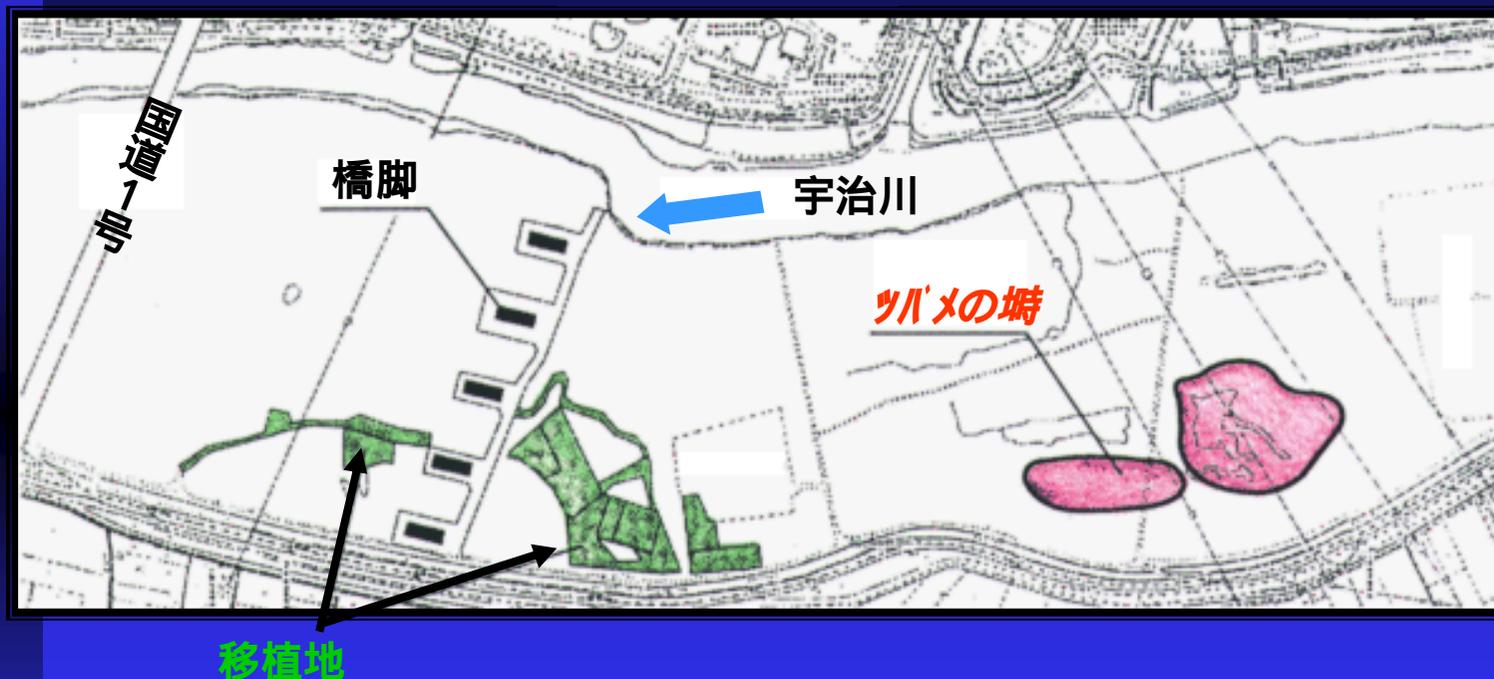
参6.5 橋梁工事における環境配慮の指導 【洛南道路宇治川橋の環境保全対策】

平成 5年度



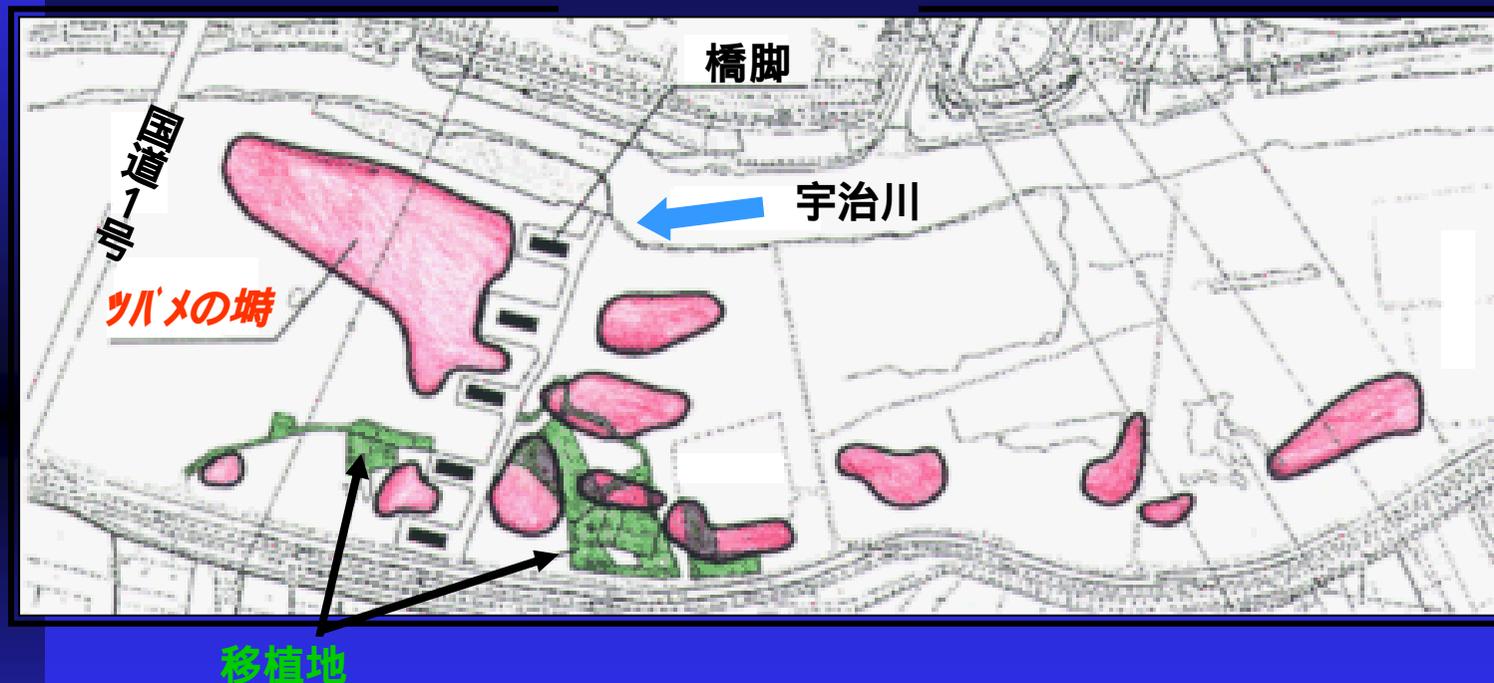
参6.5 橋梁工事における環境配慮の指導 【洛南道路宇治川橋の環境保全対策】

平成6年度

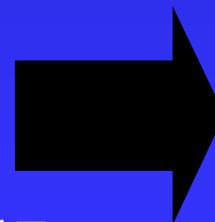


参6.5 橋梁工事における環境配慮の指導 【洛南道路宇治川橋の環境保全対策】

平成10年度



注目種全てを移植先で確認
ヨシの生育は良好
ツバメの就埒個体数の安定
移植地へのツバメの就埒行動を確認



今後も調査を継続
するように指導。

参6.6 鵜殿の導水路実験

目的 :鵜殿地区のヨシ群落の保全、再生方法の実験
(導水による効果の検討)



導水開始

出典 :平成12年度淀川生態環境調査検討業務

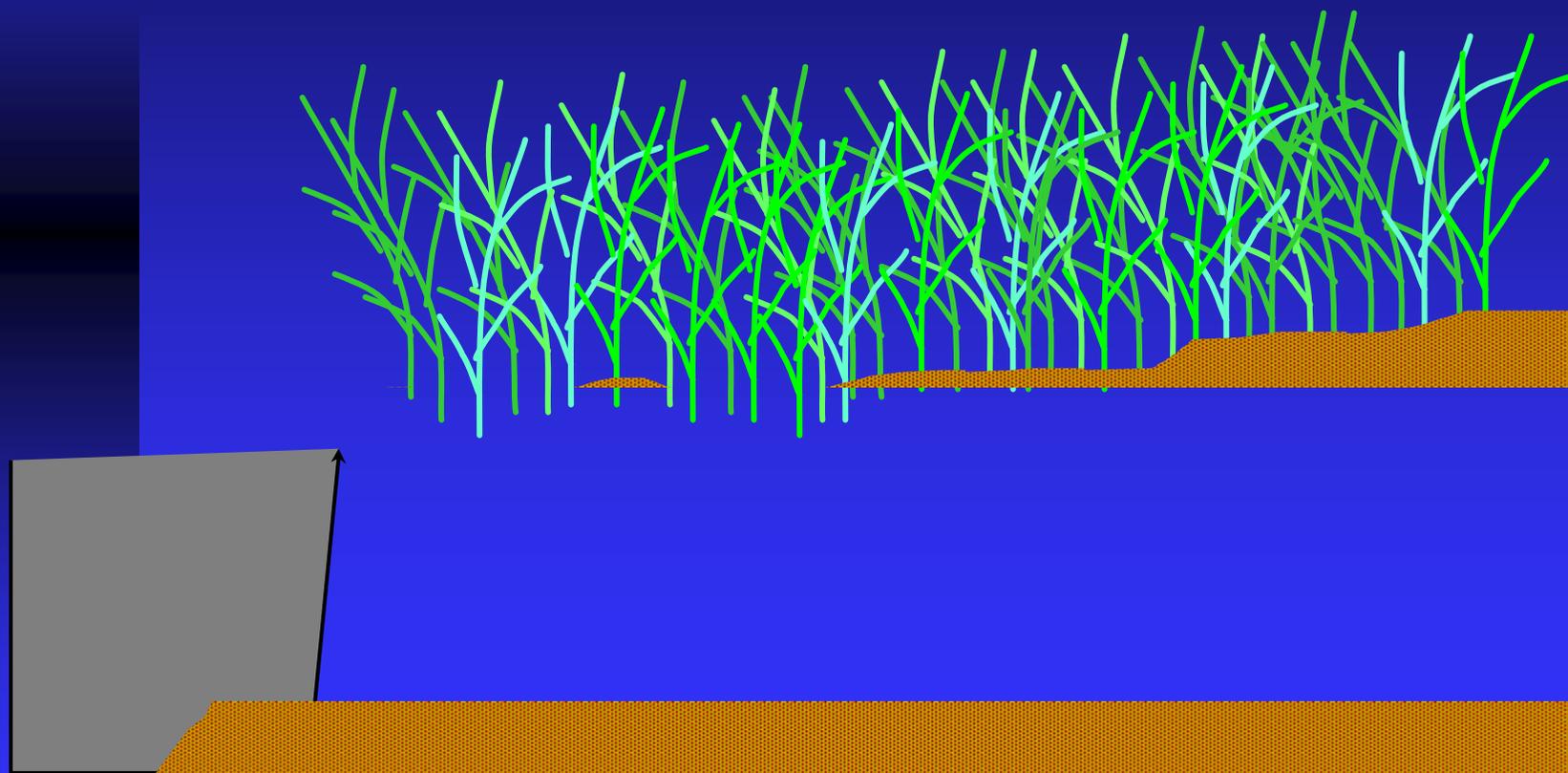
参6.6 鵜殿の導水路実験

年・月	施工後年数	導水路内に優占する植物群落
1996.12	1年	イヌビエ-オオクサキビ群落
1997.12	2年	イヌビエ-オオクサキビ群落に一部ヨシ群落が侵入
1998.12	3年	導水停止後、カナムグラの進入が見られたものの、ほぼ全域にヨシ原が形成
1999.12	4年	導水停止後、カナムグラの進入が見られたものの、ほぼ全域にヨシ原が形成
2000.8	5年	ほぼ全域にヨシ原が形成

出典 :平成12年度 淀川生態環境調査検討業務

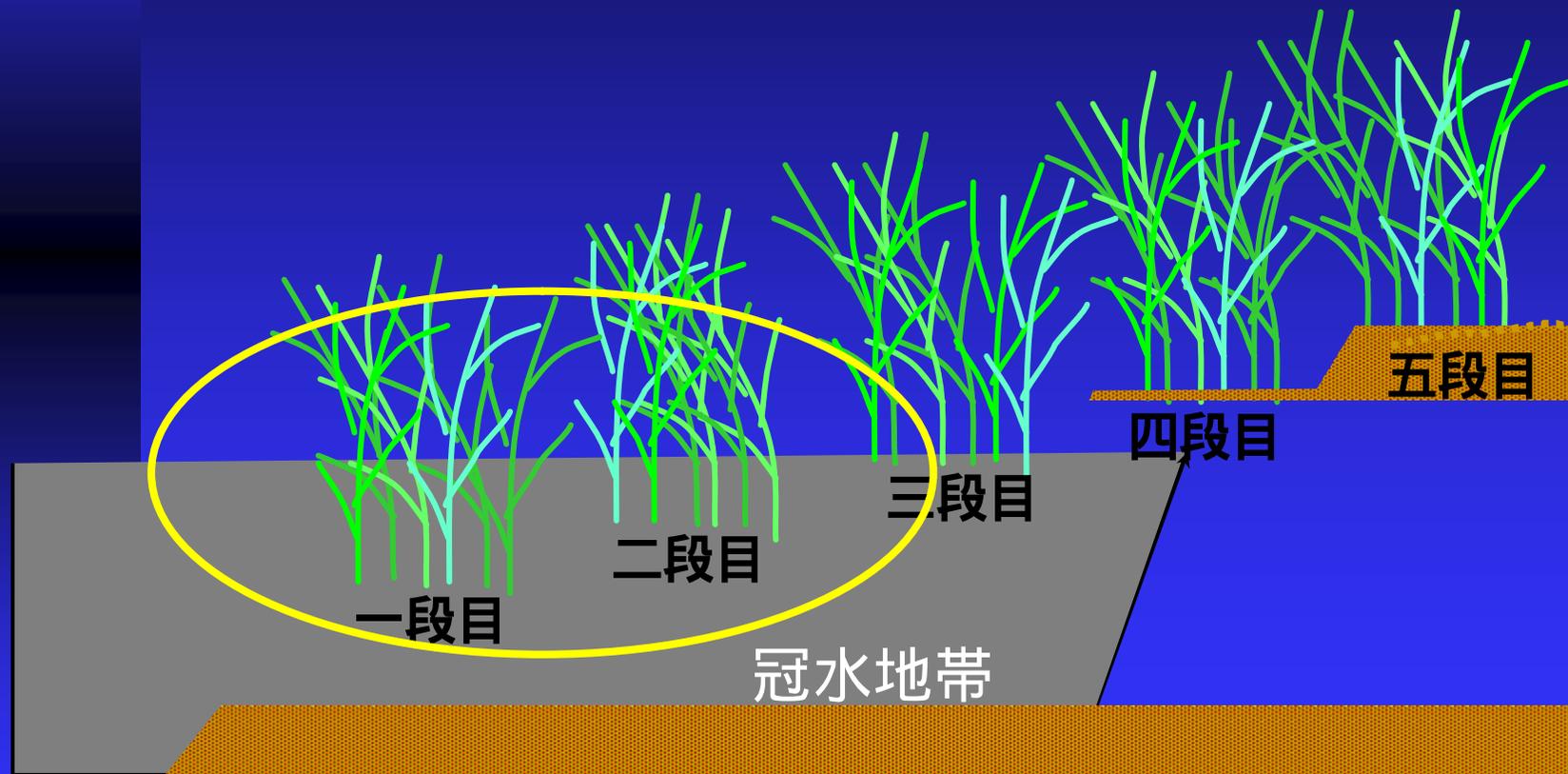
参6.7 鵜殿の高水敷切り下げ実験

目的 鵜殿地区のヨシ群落の保全、再生方法の実験
(切り下げ効果の検討)



参6.7 鵜殿の高水敷切り下げ実験

目的 鵜殿地区のヨシ群落の保全、再生方法の実験
(切り下げ効果の検討)



参6.7 鵜殿の高水敷切り下げ実験



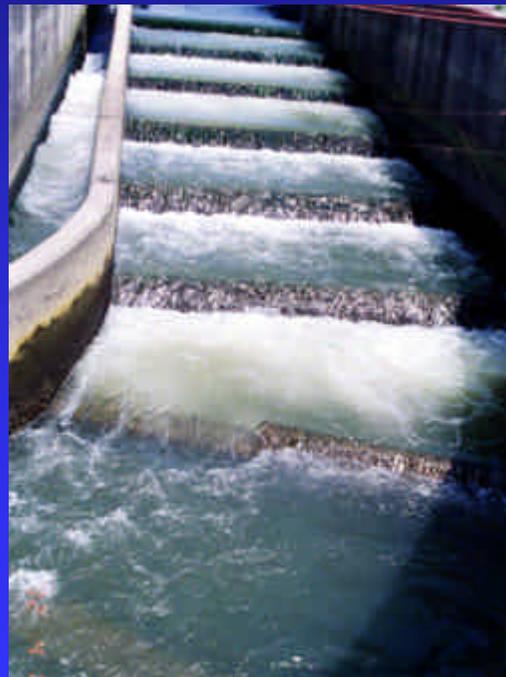
3～5段目でヨシの定着を確認。



参6.8 アユ魚道調査

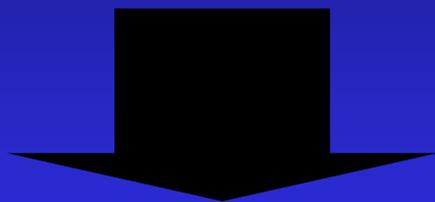
目的 :魚類の遡上しやすい魚道とその管理方法の検討

現状 :鮎の遡上を確認しています。



参6.9 除草時期の調整 【休津川における草花調査】

目的 地域住民との交流により植物の育成に配慮した除草時期の調整

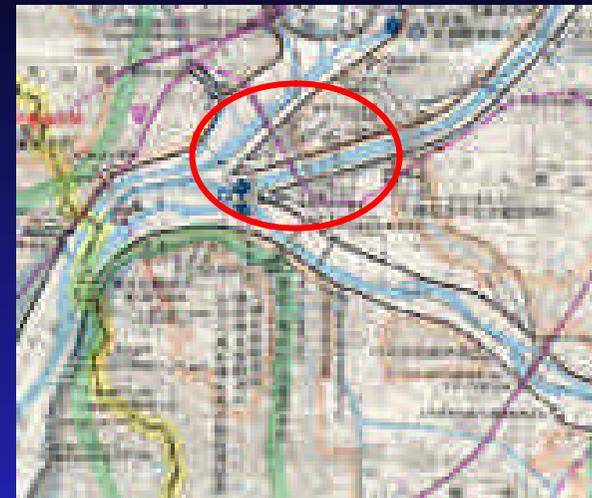


10カ所の除草調整区間でオニユリ等の開花時期や結実時期等に配慮した除草を行っています。



参6.10 河道内樹木の伐採に関する調整

流下阻害の原因となる樹木の伐採において、樹木内に生息する鳥類や小動物に配慮し、伐採範囲、方法、時期を決定。



(三川合流部)

参6.11 河川生態學術研究



参6.11 河川生態学術研究

【上流域において実施されている研究】

本流

- ・流速分布の測定
- ・底生動物調査手法の開発

植生

- ・植生図の作成
- ・ヤナギ林の動態
- ・植生立地の物理条件の把握
- ・カエルの分布状況

ワンド/たまり

- ・魚類の動態
- ・たまりの洪水時の挙動
(冠水状況・底生動物)

旧二次流路

砂礫堆

- ・カワラヨモギの生態
- ・アリジゴクの生態
- ・土砂の移動

二次流路

- ・洪水に伴う流れの変動

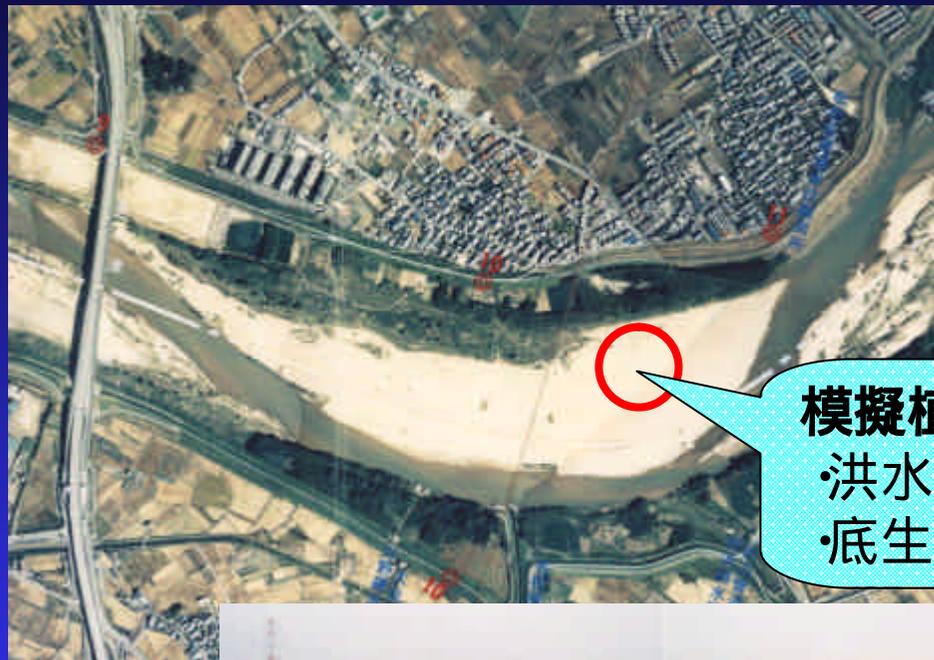
河床内間隙

- ・中州の浄化機能
- ・間隙生物の動態
- ・バクテリア など



参6.11 河川生態学術研究

【下流域において実施されている研究】



模擬植生の設置
・洪水後の地形変化
・底生動物の変化

